



## つながる

### —台湾交流・地域との交流・小中交流—

西川小学校では、「多様な他者とかかわりあう教育」を大切にしています。校内における異学年のかかわりはもちろん、地域での世代をこえたかかわり、国をこえたかかわりなど、幅広く人とつながる取り組みを教育活動に位置付けています。

少子化が急速に進む昨今、他者とつながることには大きな教育的意味があります。例えば、以下のようなことが挙げられます。

☆多様な他者とつながることで、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する姿勢が育ちます。

☆多様な他者とつながることで、人々と協働的に取り組もうとする社会参画への意識が育ちます。

幼少期にこそ、多様な他者と「つながる楽しさ」「つながる喜び」をより多く経験できるよう教育活動を展開していきたいと思えます。

## 台湾・南湖小学校との交流

6月9日（火）、NPO法人「ランドナビにしかわ」のご協力のもと、台湾の姉妹校である南湖小学校のみなさんと交流しました。今回来校したのは、5・6年生の児童21名と教員3名です。南湖小学校は首都である台北市にあり、全校生が1,300人を超える大規模校です。



今回は、5年生と6年生が外国語の学習を通して交流を深めました。5年生は、タブレットの画像を見せながら自分の好きなことを伝えていきました。自分の好きなことが相手も好きだと知り、互いに笑顔でかかわる姿が見られました。6年生は、平日の自分のスケジュールを伝え、台湾の小学生のスケジュールについて尋ねていきました。はじめはやや緊張気味の子どもたちでしたが、「寝る時間が一緒だ！」と共通の話題で盛り上がると、自然に笑顔が広がっていきました。お昼には、全校生が南湖小のみなさんと一緒に給食を食べました。この日のメニューは「焼きそば」。口いっぱい焼きそばを頬張り、「yummy（ヤミー）」（おいしい）と笑顔で会話をかわす姿もありました。

交流を重ねるごとに、子どもたちは「言葉が伝わらなくても気持ちが通じるうれしさ」「言葉が伝わりつながる楽しさ」を感じてきています。

## 地域の方たちとの交流

### 「人権の花」を植えたよ

6月3日(水)、3年生が人権擁護委員のみなさんと「人権の花」を植えました。今回植えた花は、マリーゴールド、ペゴニア、ニチニチソウの3種類。プランターに土を入れ、1株ずつやさしく植えていきました。

人権の花運動は、協力して花を育てることによって生命の尊さを実感し、豊かな心、やさしさと思いやりの心を育むことを目的としています。これからは、水やりなどの世話を通じて花とかかわり、子どもたちの心に多くの彩りが加わることを願っています。



### 歩道を彩るマリーゴールド

6月11日(木)、2年生が学校前の歩道沿いにマリーゴールドを植えました。この花は、毎年、大泉健次さん(海味)がご厚意で準備してくださっています。子どもたちは横一列に並び、植えたマリーゴールドにそっと土をかけていきました。

これからしばらくの間、鮮やかなオレンジ色の花々は、この道を通る多くの人々の目を楽しませてくれることでしょう。



### 田植え体験

5月28日(木)、5年生が田植えに挑戦しました。今年も、川合大輔さん(海味)のご協力のもと、1株ずつ丁寧に手植えをしていきました。

子どもたちは、泥の感触に戸惑いつつも、少しずつコツをつかんでいき、慣れた手つきで作業に取り組んでいました。

また、川合さんのご厚意により田植え機に試乗させていただきました。試乗した子は、皆緊張した表情で操縦していました。今回植えた苗は稲刈りまで大切に育てられ、収穫感謝祭などでふるまわれる予定です。



### 小中での交流

6月2日(火)と3日(水)、2日間にわたり小学校の児童会と中学校の生徒会が中心となって「あいさつ運動」を展開しました。

事前に、児童会と生徒会の代表のみなさんが打合せを行って準備を進めました。当日は、昇降口で中学生を見つけると、手を振ってかけ寄る小学生がいたり、「1年生かわいい!」と微笑む中学生がいたり、朝から温かい空気に包まれました。2日目はあいにくの雨模様となりましたが、はつらつとした中学生の姿がとても爽やかでした。

10月には、2回目の合同あいさつ運動を予定しています。

